



冬休みの過ごし方

うるま市立天願小学校

もうすぐ二学期も終わり、子どもたちが楽しみにしている冬休みがやってきます。今年度の冬休みは、12月26日～1月5日までの11日間です。期間は短いのですが年末年始にかけて一年間の反省や新しい年の計画など、日頃の生活をじっくり振り返り新たな目標を立てる大切な休みとなります。これまでの生活リズムを崩さず、けじめのある規則正しい生活を心がけ、充実した休みにしていきましょう。

冬休みの過ごし方について、下記のことを家庭でも話し合われるよう、よろしくお願いします。

1. 規則正しい生活の奨励



(1) 早寝・早起きを心がけさせましょう。

年末・年始は、テレビに夢中になりがちです。夜更かしをさせないように注意しましょう。

(2) あいさつの奨励と習慣づけ。躰のチャンスです！

年末・年始は、どこのご家庭も客の出入りが多いものです。他家を訪問する機会も多くなります。そんな時こそ子どもに基本的な躰をするよい機会です。多くの人たちと接触することによって、言葉遣いや生活態度、礼儀作法などを学ばせることができます。

(3) お手伝いを奨励して下さい。(年末の大掃除、お正月の来客への接待など)

家族でその子なりにできるお手伝いをさせて仕事に対しての責任を持たせることも大事です。お手伝いをすることによって、子どもは仕事の手順なりを覚えていきます。

(4) 健康に気をつけさせましょう。

風邪、甘い物の食べ過ぎに注意して、手荒い・うがいを心がけさせましょう。また、縄跳びなど手軽にできる運動で体力をつけるようにしましょう。



2. 悪い遊び(喫煙・夜遊び等)を地域からなくそう

(1) 集団心理から、喫煙は高学年にとどまらず、低学年にも発生する可能性があります。子どもたちの様子に変化がないか注意深く見つめて下さい。

(2) 冬は、日没が早く、すぐに暗くなります。日没後の外出は控えさせて下さい。

(3) クリスマス・お正月と大人も子どもも心が浮かれがちになります。子どもだけで遊びを目的とした遠出をさせないようにしましょう。

(4) カラオケ、ボーリングは、保護者同伴でお願いします。また、午後10時以降は、たとえ保護者同伴であっても健全育成の面から控えて下さい。

(5) 子どもだけによるゲームセンターへの出入りは禁止です。家庭でも強く言い聞かせて下さい。

(6) 子どもだけによる夜間外出は禁止です。また、自分のお子さん以外であっても、夜間に歩いている子を見かけたら、一声かけて帰宅させるようご指導お願いします。

(7) 子どもだけによる夜間外泊は禁止です。親の目が届かないところで事件や事故が起こります。親の強い指導が子どもを事件や事故から守ります。

3. 交通事故に十分注意させましょう

(1) 天願小学校の校区内には、自転車と車が出会い頭に衝突しそうな場所がいくつも見られます。自転車の正しい乗り方については、ご家庭でも話題にし安全な乗り方等について確認をよろしくをお願いします。

(2) 特に低学年の道路の横断等は、ご指導よろしくお願いします。

(3) 年末年始は、自動車の往来も普段より多く、運転手も忙しい気持ちになっています。交通事故に巻き込まれないよう注意しましょう。



4. 痴漢や変質者、不審者に注意しましょう

最近、子どもをねらった痴漢行為や不審者が増えています。本校区内でも事件が発生し学校でも十分注意を呼びかけました。休みは保護者や学校から目が届きにくく、子どもたちが狙われやすい時期でもあります。下記のことを守り、悪の手から子供たちを守りましょう。

(1) 知らない人に道を尋ねられても一人では対応しない。

車の中から道を聞いたり、会話を求めたりするケースがよくあるようです。一定の距離をおいて対応するよう指導しましょう。また、しつこい場合は、近くの家や店に逃げ込んだり、近くの大人に助けを求めたりするように指導しておきましょう。

(2) 一人では帰らない。

塾や部活、おけいこ事であっても、一人では帰らないようにしましょう。

(3) すぐ通報する。地域、学校、警察にすぐに連絡するように心がけましょう。

(4) 不審な人が近づいてきたら、近くにいる大人に助けを求めましょう。

5. 新年の決意を話し合しましょう

「一年の計は元旦にあり」と言われています。年のはじめにあたり、一家そろって各自の決意を話し合しましょう。



6. お年玉の使い方を話し合しましょう

子ども達にとってお正月の一番の楽しみは、お年玉をもらうことです。そのお年玉も年々額が増える傾向にあります。まだお金をコントロールできる年代ではありませんので、よきアドバイザーとしてその使い方についても話し合ってください。

7. 計画的に学習させましょう

学校からの課題は「冬休みのしおり」をご覧ください。計画的な学習を進めるためには、その日の課題は、その日のうちに必ず済ませることです。学習の習慣化を図るために、毎日継続してやるようにご指導下さい。

(1) 単元テスト等の結果をもとに、一・二学期の復習に取り組みましょう。

(2) 音読・漢字・計算など、苦手なことにじっくり取り組ませましょう。

(3) 書き初めに挑戦しましょう。